

学校だより

済美



南砺市立城端小学校
令和6年9月25日

互いに高め合う仲間

校長 高田 篤志

8月26日から27日にかけて、6年生は能登青少年交流の家へ宿泊学習に行ってきました。一番の心配は、台風10号の襲来。ところが、数日前から西へ進路を大きく変え、この2日間は快晴の下で、1日目のアーチェリーやカヌー、カッター（24人乗りの手漕ぎボート）、キャンプファイヤー、2日目のサイクリングやディスクゴルフ（フライングディスクを使ったゴルフ）を思う存分楽しむことができました。

この2日間子供たちに同行しましたが、とても心地よく、何か安心感のようなものを常にもって過ごすことができました。

その理由を考えてみると、活動中「じょうずだね！」と友達のよさを認める言葉、「大丈夫？手伝うよ。」と友達を気遣う言葉、「おいしい、もう少し。」と励ます言葉等、常に温かい言葉が行き交っていることに気付きました。いわゆる『心理的安全性』が確保された“互いに高め合う仲間”だったのです。こうした仲間は、確実に一人一人が実力を発揮したり、よいアイデアを出し合ったり、より高い目標を達成したりすることができます。

そんな素敵な時間を6年生の子供たちと共有でき、夏休み最後のよい思い出となりました。

いよいよ2学期がスタートしました。それぞれが夏休み中の経験を生かし、今度は全校の子供たちが“互いに高め合う仲間”となって、ますます成長することを楽しみにしています。

城端小学校ホームページ
QRコード



<10月の主な行事予定>

- 1日(火) 集団登校 委員会
- 2日(水) 校内学習発表会(1~4限)
- 5日(土) 学習発表会・お弁当展
- 7日(月) 振替休業日
- 10日(木) さわやかデー・学校集金
ベルマークの日
- 14日(月・祝) スポーツの日
- 15日(火) 集団登校
- 21日(月) 委員会 避難訓練(地震対応)
- 24日(木) 就学時健康診断
- 28日(月) クラブ活動
(3年生クラブ見学)
- 28日(月)~11月1日(金)
持久走記録会期間



<11月の主な行事予定>

- 1日(金) 集団登校
- 3日(日・祝) 文化の日
- 5日(火) 委員会
- 6日(水) 研修会のため、
日課・下校時刻変更
- 11日(月) クラブ さわやかデー
学校集金 ベルマークの日
- 15日(金) 集団登校
学習参観・講演会・作品展示
- 18日(月) 委員会
- 21日(木) 児童集会
- 25日(月) 高学年弁当の日 クラブ



<新メンバーを紹介します！>

外国語と外国語活動に9月から新しいALT(Assistant Language Teacher)が来られました。

コーディ先生：アメリカ合衆国 アラスカ州出身 趣味はクッキング 日本語もできます

ダニエル先生：アメリカ合衆国 ニューヨーク州出身 趣味は旅行、日本語の勉強 タコスが好き

ぽかぽかコラム ～3年生の取組から～

3年生は、総合的な学習の時間にギフチョウを育てています。今年は、ギフチョウの卵を採りに行くところから学習が始まりました。4月に卵を採ってきてから約1か月間半、餌をあげたり、フンの掃除をしたりと大切に世話をしてきました。とても小さく宝石のように美しかった卵は、今はさなぎの状態です。ギフチョウは、約10か月もの長い期間をさなぎで過ごし、春に美しいチョウとなって出てきます。子供たちは、「さなぎの間に何をしているのかな」「きつときれいな羽をつくるために一所懸命頑張っているはずだよ」と表面が固いさなぎを観察しながら思いを膨らませ、きれいな蝶と出会えることを楽しみにしています。環境の変化に伴い個体数が減ってきているギフチョウ、小さな生き物を大切にする気持ちや生き物がくらす環境を大切にしたいと思う気持ちを育てていきたいと思っています。



<さなぎを手にのせて観察する様子>

(第3年学年主任 梅原 沙織)

教育活動から

8月26・27日 6年生 宿泊学習 国立能登青少年交流の家



6年生のとても楽しそうな笑顔が、たくさん見られました。暑い宿泊学習でした。



ICT を効果的に活用することで、情報活用能力の育成を

情報教育担当 笹谷 和生

本年度は、ICTの基本的な操作を身に付け、情報や情報手段を適切に選択・活用しようとする態度を育てることを目的に、タブレット端末を使った学習に取り組んでいます。また、ICTを効果的に活用することで、主体的・対話的に学習に取り組む態度を育てることも目指しています。

2年生は、生活科の学習で、写真を撮影することや手書きで文字を入力すること等の学習に繰り返し取り組むことで、基本的な操作が身に付きました。

3年生は、体育科の「マット運動」の学習で、技のできるポイントや自分の技のでき栄えを確かめられるようにすることで、目当ての達成に向けて、進んで練習に取り組む姿が見られました。また、マットに手を付く位置や手の向き等を教え合う姿も見られました。

家庭でもeライブラリ等を活用して、目標を決めて教科の学習に取り組むことができるように、全学年で指導していきます。これからも、子供たちが情報モラルを身に付け、適切にタブレット端末を活用できるように、家庭や地域と連携し、情報ネットワーク上のルールやマナー、ICTの利用における問題点等について考える活動に取り組んでいきたいと思っています。

